

# 株式会社幸保工務店 環境経営レポート第13版

取組期間：2023年6月1日～2024年5月31日

発行日：2024年9月2日（2024年10月2日改定）



## 目次

1.組織の概要	・・・ 1
2.組織図・役割	・・・ 2
3.環境方針	・・・ 3
4.環境活動計画	・・・ 4
5.環境活動と取組実績	・・・ 5
6.取組結果の評価と是正	・・・ 10
7.中長期の環境目標	・・・ 14
8.環境関連法規への違反・訴訟の有無	・・・ 16
9.代表者による評価	・・・ 17

## 1. 組織の概要

- ① 事業者名 株式会社 幸保工務店
- ② 代表者名 代表取締役 叶井 誠司
- ③ 所在地 (事務所) 〒860-0068 熊本県熊本市西区上代8-10-22  
(作業場) 〒860-0068 熊本県熊本市西区上代10-2716-1  
(社員寮) 〒860-0068 熊本県熊本市西区上代8-10-18  
※社員寮は環境負荷の集計には含んでいません

### ④ 事業内容(認証登録範囲)

#### 1) 建築業

- ・ 建築一式工事熊本県知事許可(特-1)第4978号
- ・ 一級建築士事務所熊本県知事登録第2085号

#### 2) 宅地建物取引業

- ・ 宅地建物取引業熊本県知事免許(12)第1773号

### ⑤ 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 川邊 茂雄

エコアクション21 担当者 林田 春奈

TEL : (096)-329-1418 FAX : (096)-329-5124

E-mail : yukiyasu@yukiyasu.co.jp

URL : <https://www.yukiyasu.co.jp/>

### ⑥ 事業の規模

設立年月日	昭和39年7月 (S48年6月 株式会社化)	完工高	2021年度	¥866,171,324
資本金	3,500万円		2022年度	¥641,816,048
事業年度	6月～翌年5月		2023年度	¥1,097,414,000
従業員数	23人	着工棟数	2021年度	25棟
延床面積	事務所 : 486.6㎡ (倉庫含む)		2022年度	15棟
	事務所下倉庫 : 101.78㎡		2023年度	15棟
	作業場 : 704㎡ (土地面積)		※着工数は新築着工棟数です (リフォーム・改装等は含まず)	
	社員寮 : 291.48㎡			

### ⑦ 対象範囲

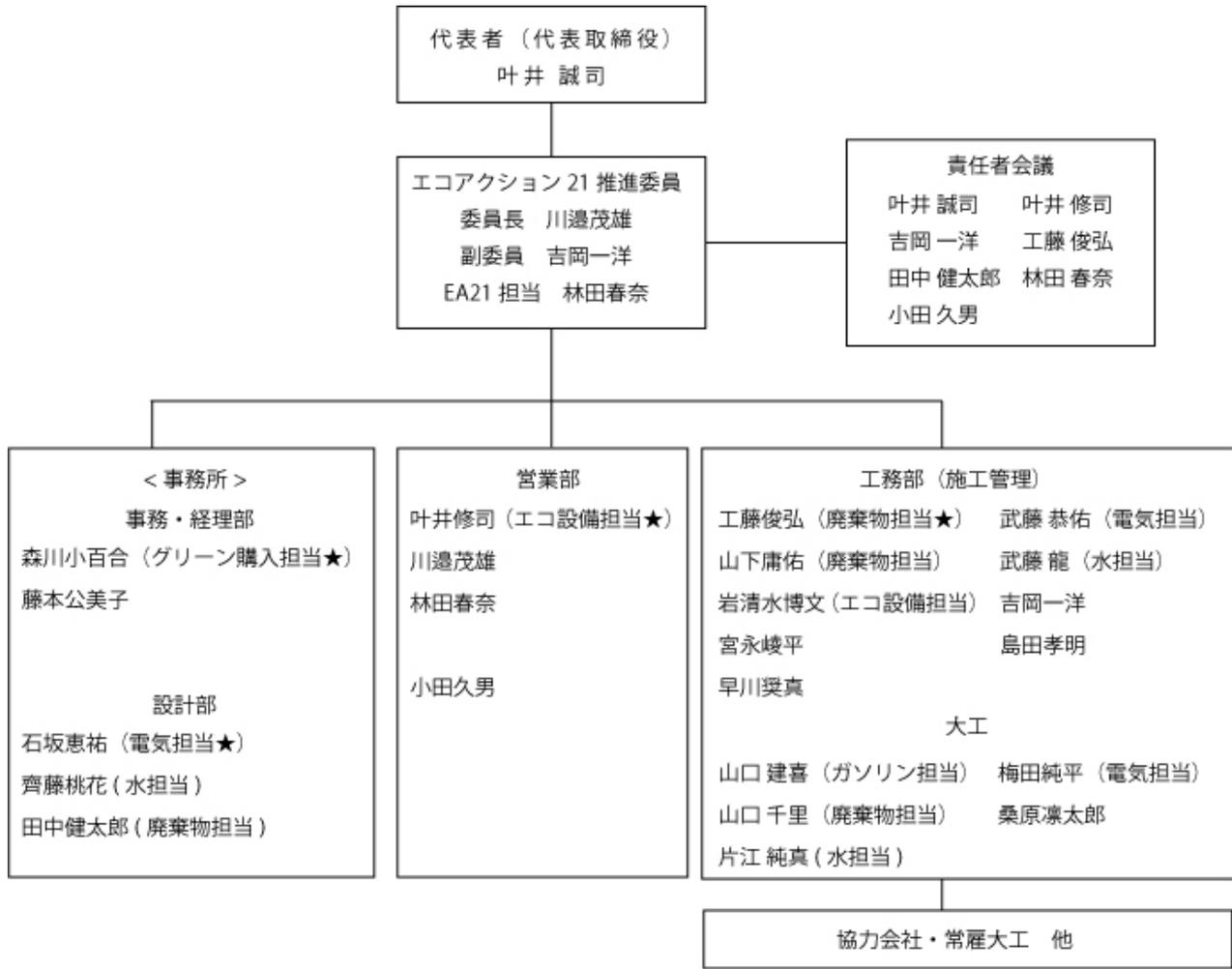
全組織・全活動を対象

事業範囲活動 : 建築工事業、宅地建物取引業

対象事業所 : 本社事務所、作業場



## 2. 組織図・役割



★印が付いている人が各担当及びエコアクション21推進委員会の委員です。

所属	役割
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員長・副委員長・担当者を任命する</li> <li>・エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する</li> <li>・経営資源を用意する</li> <li>・環境方針を作成見直しをし、従業員に徹底させる</li> </ul>
EA21推進委員会 委員長 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・責任者会議を活用しEA21活動の周知徹底・改善事項等の協議を行う。</li> <li>・環境目標を作成、実行し環境実績を向上させる</li> <li>・エコアクション21取組実績を代表者に報告する</li> </ul>
EA21担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年6月末に環境関連法規のチェックを行う</li> <li>・EA21推進委員長・副委員長を補佐し、文書の作成・維持・管理を行う</li> <li>・発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する</li> </ul>
各部門担当 (上記組織図で★マークが付いている人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する</li> <li>・自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う</li> </ul>
工務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下請け業者に対し、環境配慮について連携し情報提供を行う</li> </ul>
営業部・設計部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ設備等、環境配慮施工を行う提案を行う</li> </ul>
大工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工技術を向上させ、環境配慮施工を行う</li> </ul>

# 環境経営方針

## 基本理念

株式会社 幸保工務店は、地域に根ざした工務店となれるよう『モアベターを目指して』の基本理念のもと、『お客様・地域にお住まいの方に信頼される工事施工』『住環境でのCO2削減の為に新築やリフォーム工事等での太陽光発電設置の推進』『雨水再利用の為に雨水タンク設置推進』『地球に優しいエコ活動』を社員一丸となって行い、地域社会との融和をはかり環境保全に貢献します。

## 基本方針

1. 当社事業活動により発生する環境負荷を減らし、環境行動計画を定め、継続的かつ向上的な環境改善に取り組みます。
2. 当社の事業活動から発生する環境負荷を減らすため、下記の事項に対し優先的に実行します。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減
    - ・ 車両等の燃料使用量の削減
    - ・ 電気使用量の削減
  - ② 産業廃棄物及び一般廃棄物の減量化
    - ・ 産業廃棄物に関しても出来る限りのリサイクルを推進し、委託の場合は適切に処理されているかをマニフェスト伝票で確認
  - ③ 水使用量の削減
  - ④ 事務用品のグリーン購入の推進
  - ⑤ エコ設備の推進、エコに関する情報の収集・発信
3. 当社の事業活動に関する環境関連法令等を遵守します。

この環境方針は、当社社員全員に周知するとともに、一般に公開します。

平成23年7月20日 制定

平成28年9月9日 改定

株式会社 幸保工務店

叶井 誠司



#### 4.環境活動計画

環境目標達成のために以下の環境活動計画に基づき、環境活動を行いました。

		自己チェック 記録欄(人数)		
		○	△	×
電 気 (担当:石坂)	①長時間使用しないPCの電源をOFFにする	12/16	1/16	3/16
	②必要に応じてコンセントを抜く	7/16	7/16	2/16
	③エアコンの設定温度は適温(冷房:28℃ 暖房:20℃)を基準とし、湿度の関係 で不快感を感じる場合には、協議をして温度を決定する	17/17	—	—
	④昼休みや不在時には必要以外の電灯は消灯する	17/17	—	—
	⑤電気やエアコンの消し忘れが無いかをチェックする	17/17	—	—
	⑥節電マークを貼り付けて社員に節電を促す			
ガソリン (担当:山口建)	①ふんわりアクセルのエコドライブを実践する	10/17	6/17	1/17
	②各車両の燃費を把握する	16/16	—	—
	③荷台に無駄な荷物を詰め込みすぎないようにする	11/17	6/17	—
一般廃棄物 (担当:工藤) ※産廃も同担当者 です。	①使用済みコピー用紙の裏面を再利用する	11/16	5/16	—
	②紙ごみ・プラスチックごみを分別する	15/17	2/17	—
	③缶・ビン・ペットボトルを分別する	16/17	1/17	—
	④ミスコピーを減らすために印刷前に書類に間違いがないか確認する	9/16	7/16	—
産業廃棄物	①マニフェスト伝票で適正に処理されているかを確認する			
水 (担当:齊藤)	①水道使用後に蛇口をしっかりと閉める	17/17	—	—
	②車両・工具等を洗浄する際は、溜め水や雨水タンクの水を使用する			
グリーン購入 推進 (担当:森川)	①事務用品等を購入する際はエコマーク商品を優先的に購入する	3/4	1/4	—
	②常に必要な事務用品をリスト化し、それに関しては必ずエコ商品を選ぶようにする			
	③使用量の多いコピー用紙、ファイルは必ずエコマーク商品を購入する			
エコ設備推進 (担当:叶井修)	新築やリフォームで、太陽光発電を積極的にお客様に薦めていく	—	2/4	2/4
化学物質の管理	塗料は立ち上がりのあるケースに入れ、なるべく上部に置かないようにする	3/8	5/8	—
DX化の推進	ANDPADを積極的に利用する	4/15	4/15	7/15

※化学物質は微量の為、管理のみしています。

※自己チェックは事務所で勤務している人、各項目の該当者がチェックを行っています。

## 5.環境目標と取り組み実績

2022年度のエコアクション21の取組をまとめました。

取組開始から6年以上経過し、当初設定した基準年実績が現状と合致していない為、取組開始以降の平成23年～25年の平均値を基準年実績とします。(※弊社の事業年度は、6月1日～翌年の5月31日までです。)

(記号の見方: ▽=マイナス ▲=プラス を表します)

### 会社全体(事務所+現場)取り組み実績 (取組期間 : 2023年6月1日～2024年5月31日)

項目	単位	基準年実績	目標値	実績	達成状況	
		2011年～2013年平均	2023年度		目標達成率	
CO <sub>2</sub> 排出量	Kg - CO <sub>2</sub>	37478.37	35979.24	26166.98	○	
			▽4%		137%	
電気使用量削減 (CO <sub>2</sub> 排出量係数 : 0.382)	kWh	24897	23901.12	18075	○	
			▽4%		135%	
ガソリン使用量削減	ℓ	8508.36	8168.03	7026.8	○	
			▽4%		116%	
軽油使用量削減	ℓ	1214.37	1165.80	972.2	○	
			▽4%		119%	
一般廃棄物排出量削減	Kg	286.76	276.72	351.21	×	
			▽3.5%		78%	
産業廃棄物 リサイクル率	%	70%	80%	87%	○	
			▲10%		108%	
水使用量削減	m <sup>3</sup>	462	448.14	161	○	
			▽4%		278%	
エコ設備 の推進	太陽光発電	件	4	0 (0/15件)	×	
			±0		0%	
	ゼロエネルギー住宅	件	0	1	0 (0/15件)	×
				▲1		0%

※グリーン購入：コピー用紙・ファイルについてはグリーン用品を購入しています。

※化学物質（塗料）は適正管理を行っています。

※電気のCO<sub>2</sub>排出量係数は九州電力の2022年度の数値です。

事務所・現場個別の取り組み実績をまとめました。

(記号の見方: ▽=マイナス ▲=プラス を表します)

事務所取り組み実績 (取組期間 : 2023年6月1日～2024年5月31日)

項目	単位	基準年実績	目標値	実績	達成状況
		2011年～2013年平均	2023年度		目標達成率
C02排出量	Kg - C02	8383.70	8048.35 ▽4%	4648.76	○ 173%
電気使用量削減 (C02排出量係数 : 0.382)	kWh	14355.67	13781.44 ▽4%	11422	○ 120%
一般廃棄物排出量削減	t	286.7	276.67 ▽3.5%	351.21	× 78%
水使用量削減	m <sup>3</sup>	126	121.59 ▽4%	63	○ 193%
エコ設備 の推進	太陽光発電	件	4	0	×
			±0	(0/15件)	0
	ゼロエネルギー 住宅	件	0	1	×
			▲1	(0/15件)	0

※電気のC02排出量係数は九州電力の2022年度の数値です。

現場取り組み実績 (取組期間 : 2023年6月1日～2024年5月31日)

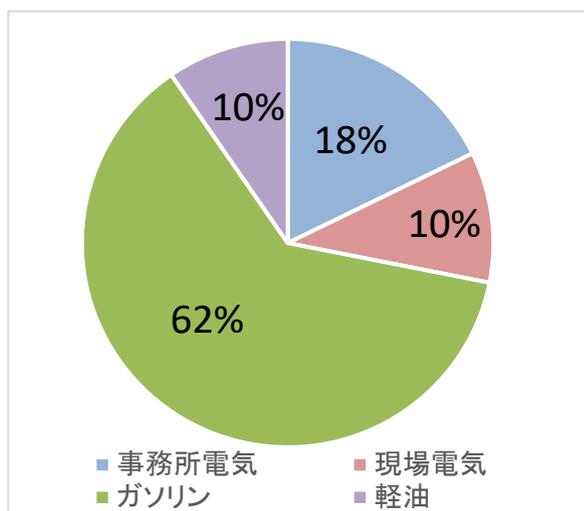
項目	単位	基準年実績	目標値	実績	達成状況	
			2011年～2013年平均	2023年度		目標達成率
C02排出量 (電気のみ※)	Kg - C02※1	4.22	4.05 ▽4%	0.02 (2707.77kg-C02)	○ 202%	
電気使用量削減 (C02排出量係数 : 0.382)	kWh※1		7.22	6.93 ▽4%	0.06 (6653kwh)	○ 115%
水使用量削減	m <sup>3</sup> ※1		0.17	0.164 ▽3.5%	0.0008 (98m <sup>3</sup> )	○ 205%
ガソリン使用量削減 (平均走行距離)	km/ℓ	9.98	10.38 ▲4%	17.34	○ 167%	
軽油使用量削減 (平均走行距離)	km/ℓ	7.54	7.84 ▲4%	7.66	× 97%	
産業廃棄物 リサイクル率	%	70%	80% ▲10%	87%	○ 108%	

※1 実績値のカッコ内は絶対量です

※ガソリン・軽油を含めた総排出量は前頁に記載しています。

※電気のC02排出量係数は九州電力の2022年度の数値です。

## CO2排出負荷エネルギー別比較グラフ



例年通りガソリンの負荷が大きい結果となった。

燃費に気を付けた運転をする、同じ現場へ行く時は極力乗り合わせるなどすぐ実践できることを徹底して少しずつでもガソリンが占める割合を減らしていきたい。

またANDPADの更なる活用で、品質は担保しつつ現場へ行く回数を減らせる様に社内での利用促進を行っていきたい。

## 太陽光発電の取り組み

社屋屋上に太陽光発電を設置しています。



2022年度は…

**年間14789kWh発電し、そのうち4938kWhを消費しました。**

**結果…2009.76kg-co2の二酸化炭素排出を抑制出来ました！**

※余剰電力のみ売電しています。

土手除草作業 & 花壇への植栽作業

Bfore(2023.7.6)



After(2023.7.6)



花壇の植栽活



自治会とも連携して、土手の除草作業(マイリバーサポート)・花苗の植栽活動を長年続けております。美しく、住みよい町づくりの為に今後も続けていきます。



建築の日ボランティア トイレ清掃活動



11月10日に実施された「建築の日」ボランティア活動の一環で、トイレ清掃ボランティアに参加しました。近くの公園2カ所のトイレ清掃を行いました。



## ハラスメント研修の実施による社員教育・職環境の向上



ベテランと若手の年齢差も広がり、女性社員の活躍も増えている中、皆が働きやすい職場環境づくりや指導方法などを令和の時代に相応しい物とする為、外部より講師をお招きして「ハラスメントに関する研修会」を開催しました。



## 独自工法「Bウォール」による材料のロス低減や作業時の粉塵低減



伝統的な軸組工法とパネル工法を組み合わせた独自の「Bウォール工法」を標準仕様としています。

高い断熱性能、高耐震、工期短縮が可能です。

さらに、工場で設計・製作したパネルを組み込む方式なので、上棟時の粉塵・騒音の抑制、廃材の軽減、資材運搬回数の低減を図ることが可能です。



## その他の取り組み成果



熊本県SDGs登録事業者  
登録証

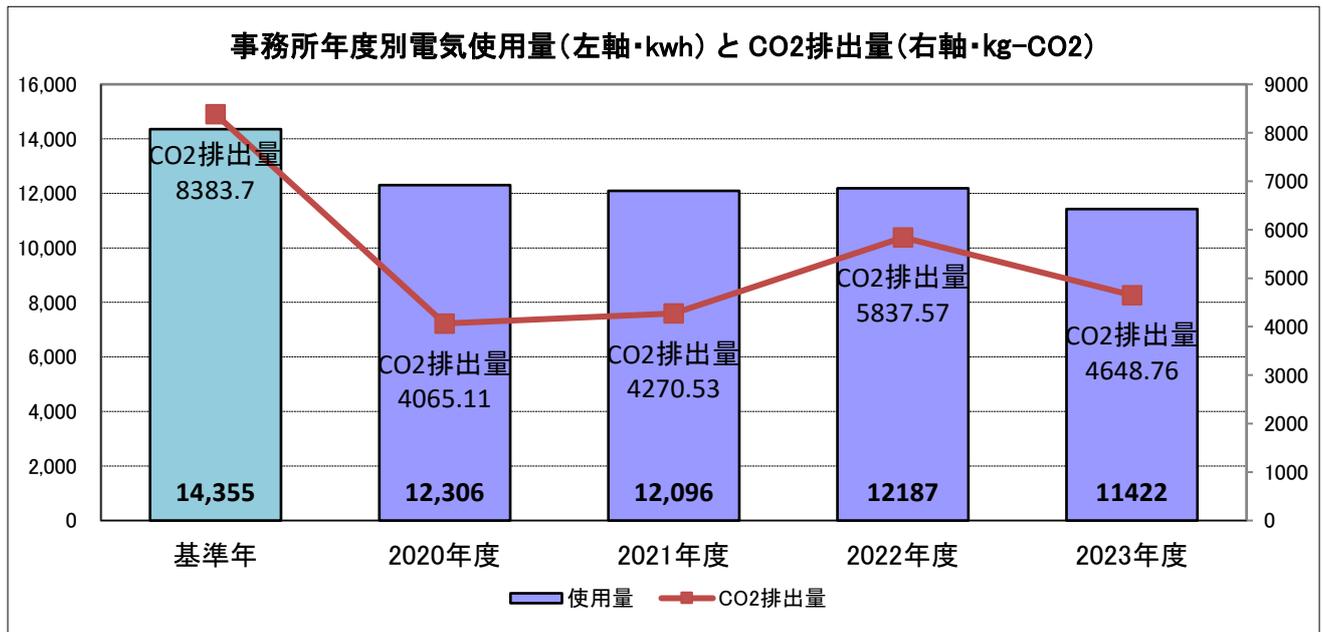


「熊本県SDGs登録事業者」「ブライツ企業」の認定の更新が認められました。

今後も、近隣の皆様、そしてお客様に愛される企業として発展していける様、社員がいいきと働ける社内環境を整えながら、お客様ひいては社会へ利益を還元できる会社を目指します。

6.取組結果の評価と是正

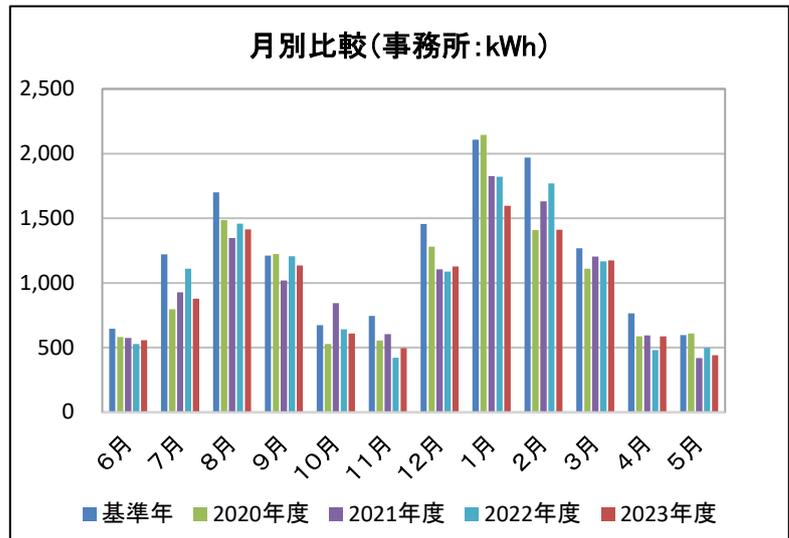
電 気 部 門



環境活動計画を実施した結果  
以下の様な実績となりました



**事務所：達成率120%で目標達成**  
**現場：達成率202%で目標達成**



※現場に関しては作業環境や規模等の条件で単純に比較が出来ないので省いています

評価	是正措置・次年度の取り組み留意事項
<p>2023年度は事務所・現場とも目標達成が出来ました。</p> <p>事務所に関しては、不在時の消灯が徹底出来ていることや、来客者の人数や子どもの有無などを事前把握することで効率的なエアコン利用が出来た点が昨年度より更なる削減が出来た要因と思われます。</p> <p>現場に関しては使用量自体は昨年度より増加している。工事内容によって増減は仕方が無いが、なるべく無駄遣いをしない様に効率的な現場運用が必要だと感じました。</p>	<p>事務所では不在時の消灯の徹底を呼び掛けたことで、意識が向上しました。<b>★引き続き定期的な啓発を行うことで、意識の低下を防いでいきます。</b></p> <p>現場では猛烈な暑さによる熱中症の危険性が以前より高まっているので、扇風機等の利用は引き続き促進します。<b>★工具の適正な使用、効率化による工期の短縮を意識することで使用量削減を目指します。</b></p>

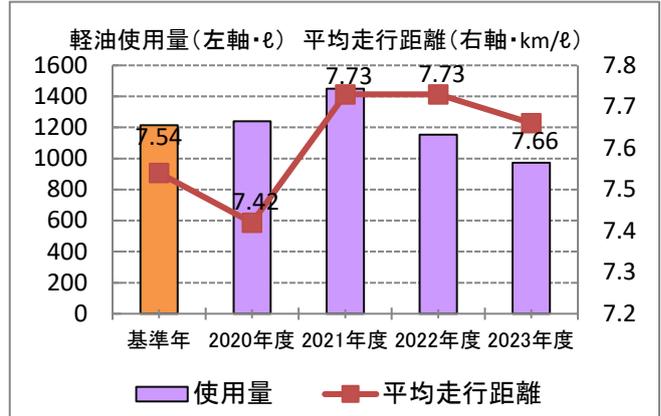
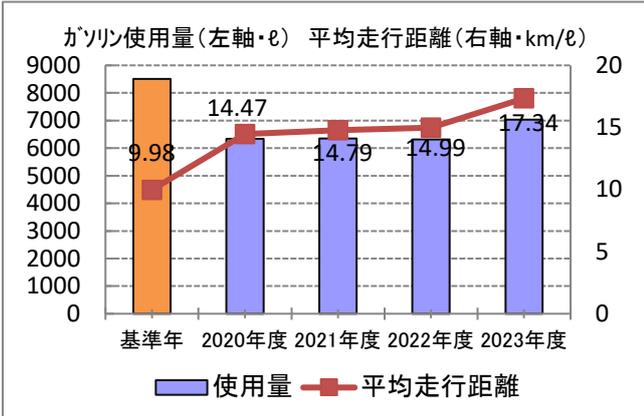
※★は次年度の環境活動計画です。

## 燃 料 部 門

環境活動計画を実施した結果  
右の実績となりました



**ガソリン平均走行距離：達成率167%で目標達成**  
**軽油平均走行距離：達成率97%で目標未達**



評価	是正措置・次年度の取り組み留意事項
<p>近年安定傾向だったガソリン使用量が増加、軽油に関しては昨年に引き続き使用量の減少がみられました。</p> <p>燃費に関しては、ガソリン車の燃費が伸びがみられません。</p> <p>軽トラックの新車への更新を徐々に行っており、燃費性能が良くなったことが要因かと思われます。</p>	<p>★ANDPADのさらなる活用を促進する為、呼びかけと共に使い方の周知を行います。</p> <p>★引き続き燃費管理表の定期的な回収を続け、燃費への意識を下げない様心掛けます。</p>

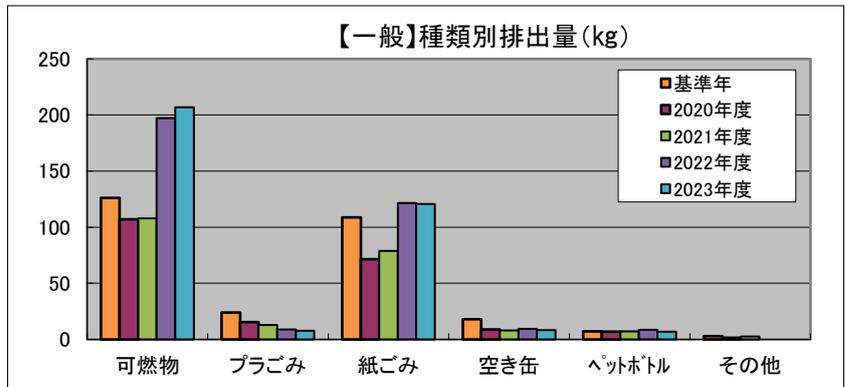
## 廃 棄 物 部 門

環境活動計画を行った結果  
以下の結果となりました



**産業廃棄物リサイクル率**  
**達成率108%で目標達成**

一般廃棄物排出量：達成率78%で目標未達

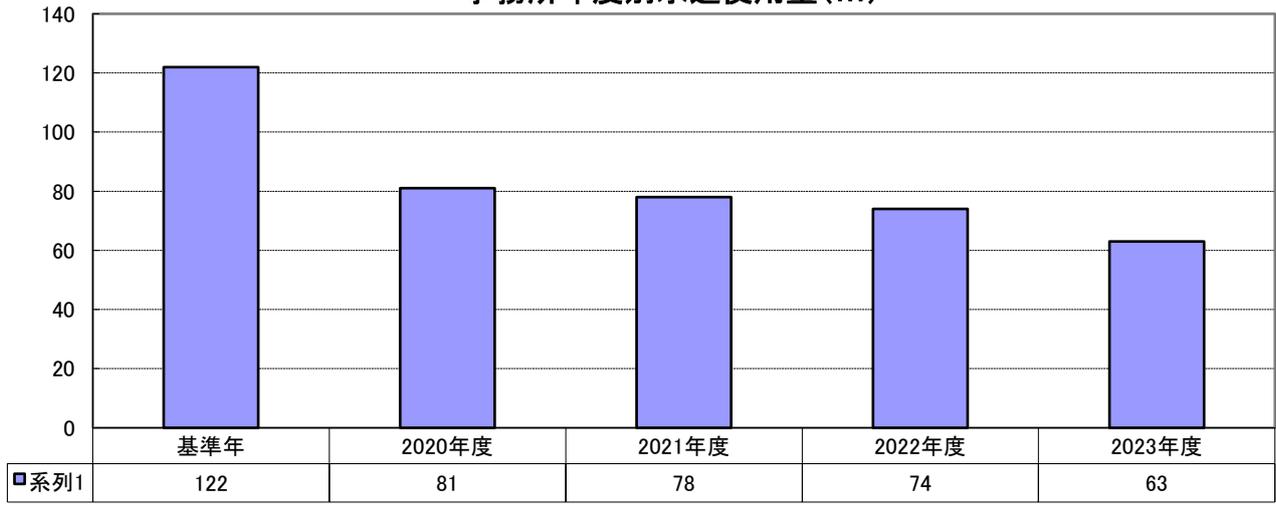


評価	是正措置・次年度の取り組み留意事項
<p>産廃に関しては目標達成が出来ました。昨年と比べ規模の大きい解体工事が少なかった為と思われます。</p> <p>一般廃棄物は昨年に引き続き目標未達となりました。</p> <p>新しい経理システム等を導入し、様々な面で電子化を図っており、今後は少しずつ可燃物や紙ごみを減らしていけるのではと考えております。</p>	<p>★電子化を一層推進し、可燃物・紙ごみの排出量を減らせる様に社内で行い組みます。</p> <p>★事務所・現場ともにゴミの分別を徹底していく為、引き続き朝礼等を利用しての呼びかけを行います。</p>

※★は次年度の環境活動計画です。

## 水部門

### 事務所年度別水道使用量(m<sup>3</sup>)



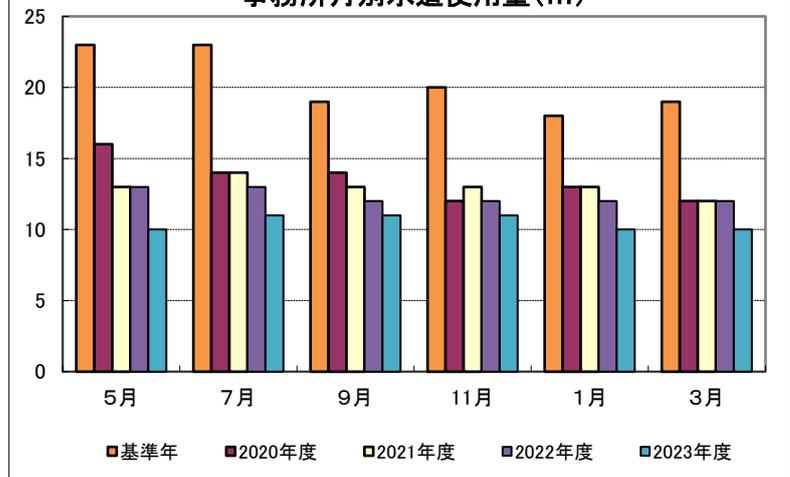
環境活動計画を実施した結果  
以下のような実績となりました



**事務所：達成率193%で目標達成**

**現場：達成率205%で目標達成**

### 事務所月別水道使用量(m<sup>3</sup>)



※現場に関しては作業環境や規模等の条件で単純に比較が出来ないので省いています

評価	是正措置・次年度の取り組み留意事項
<p>事務所は引き続き目標を達成できましたが、昨年度の使用量より増加しており、節水の意識が低下しているのかなと思われます。</p> <p>現場に関しては、大規模な解体やRC関連の工事が無かった為、昨年と比較しても大幅な使用量の低下がみられた物と思います。</p>	<p>★<u>洗い物を都度するのではなく溜め洗いをする、昼食後のお弁当箱を洗う時は、漬け置きやポットのお湯をかけて油分をある程度落としてから洗うなど、細かい工夫を実施していく。</u></p> <p>★<u>工事内容によって水使用量に変動が出るのは仕方のないものの、なるべく使用量を減らせる様に、現場での意識向上（現場での掲示物・朝礼での周知）や工期短縮・効率化を進めていく。</u></p>

## グリーン購入部門

評価	是正措置・次年度の取り組み留意事項
<p>まとめて注文が徹底出来ていました。備品の管理等も積極的に行い、必要に応じた発注が出来ており無駄な在庫の発生も抑制されました。</p> <p>倉庫の清掃も定期的に行われており、綺麗な状態を保つことが出来ています。</p>	<p>★<u>引き続き倉庫内の整理・備品の管理を徹底します。</u></p> <p>★<u>引き続き、注文前の呼びかけを行い、まとめて注文を心掛けます。</u></p> <p>★<u>省パッケージ商品の積極採用を継続していきます。</u></p>

※★は次年度の環境活動計画です。

## エコ設備部門

評価	是正措置・次年度の取り組み留意事項
<p>今年も目標未達という結果に終わりました。</p> <p>ZEH基準の断熱性能を持った家を建ててはいますが、価格高騰の影響もあり太陽光発電の導入を見送られたり、お引渡し後に価格の安い外部の太陽光業者に依頼されるケースもありなかなか達成が難しい状況です。</p>	<p>★<u>お客様に対し太陽光設置のメリットを説明していくことで、導入数を増やしていく。</u></p>

※★は次年度の環境活動計画です。

## 7.中長期の環境目標

(記号の見方: ▽=マイナス ▲=プラス を表します)

### 会社全体(事務所+現場)の中長期環境目標 (取組期間 : 2024年度~2026年度)

項目	単位	基準年実績	環境目標		
		2011年~2013年平均	2024年度	2025年度基準値	2026年度基準値
CO <sub>2</sub> 排出量	Kg - CO <sub>2</sub>	37478.37	35859.30 ▽4.5%	25348.05 —	25094.57 ▽1%
電気使用量削減 (CO <sub>2</sub> 排出量係数 : 0.584)	kWh	24897	23821.45 ▽4.5%	19878.66 —	19679.87 ▽1%
ガソリン使用量の削減	ℓ	8508.36	8140.80 ▽4.5%	6441.43 —	6377.02 ▽1%
軽油使用量の削減	ℓ	1214.37	1161.91 ▽4.5%	1262.69 —	1250.06 ▽1%
一般廃棄物排出量削減	t	286.76	275.69 ▽4%	246.86 —	244.39 ▽1%
産業廃棄物 リサイクル率	%	70%	80 ▲10%	86 —	87 ▲1%
水使用量削減	m <sup>3</sup>	462	448.14 ▽3.5%	203.00 —	200.97 ▽1%
エコ設備 の推進	太陽光発電	件	4 ±0	1 —	1 ±0
	ゼロエネルギー住宅	件	0 ▲1	1 —	1 ±0

※電気CO<sub>2</sub>排出量係数は、九州電力の平成26年度の数値です。

※2025年度より基準年実績を「2020年度~2022年度実績の平均」とします。

※2026年度目標値は仮設定です。2025年度の達成状況を見て再設定を行います。

事務所中長期環境目標（取組期間：2024年度～2026年度）

項目	単位	基準年実績	環境目標		
		2011年～2013年平均	2024年度	2025年度基準値	2026年度基準値
CO <sub>2</sub> 排出量	Kg - CO <sub>2</sub>	8383.70	7982.62 ▽5%	4724.40 —	4677.16 ▽1%
電気使用量削減 (CO <sub>2</sub> 排出量係数： 0.584)	kWh	14355.67	13668.89 ▽5%	12069.66 —	11948.96 ▽1%
一般廃棄物排出量削減	t	286.7	274.30 ▽4.5%	246.86 —	244.39 ▽1%
水使用量削減	m <sup>3</sup>	126	121.59 ▽3.5%	76.33 —	75.57 ▽1%
エコ設備 の推進	太陽光発電	件	4 ±0	1 —	1 ±0
	ゼロエネルギー 住宅	件	0 ▲1	1 —	1 ±0

※電気CO<sub>2</sub>排出量係数は、九州電力の平成26年度の数値です。

※2025年度より基準年実績を「2020年～2022年実績の平均」とします。

※2026年度目標値は仮設定です。2025年度の達成状況を見て再設定を行います。

現場中長期環境目標（取組期間：2024年度～2026年度）

項目	単位	基準年実績	環境目標			
			2011年～2013年平均	2024年度	2025年度基準値	2026年度基準値
CO <sub>2</sub> 排出量	Kg - CO <sub>2</sub>	売上 百万円 当たり	4.22	4.01 ▽5%	2.97 —	2.94 ▽1%
電気使用量削減 (CO <sub>2</sub> 排出量係数： 0.584)	kWh		7.22	6.86 ▽5%	8.25 —	8.17 ▽1%
水使用量削減	ℓ		0.17	0.1641 ▽3.5%	0.1390 —	0.1376 ▽1%
ガソリン使用量削減 (平均走行距離)	ℓ/km	9.98	10.48 ▲5%	14.29 —	14.43 ▲1%	
軽油使用量削減 (平均走行距離)	ℓ/km	7.54	7.92 ▲5%	7.83 —	7.91 ▲1%	
産業廃棄物 リサイクル率	%	70%	80 ▲10%	86 —	87 ▲1%	

※電気CO<sub>2</sub>排出量係数は、九州電力の平成26年度の数値です。

※2025年度より基準年実績を「2020年度～2022年度実績の平均」とします。

※2026年度目標値は仮設定です。2025年度の達成状況を見て再設定を行います。

## 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名称	内容	確認日	評価	確認者
廃棄物処理法	委託先の許可確認	2024年1月20日	○	林田
	マニフェストの交付・保管	2024年1月20日	○	林田
	野外焼却の禁止	2024年1月20日	○	林田
	積み上げ高さの厳守・保管場所の掲示板設置	2024年1月20日	○	林田
労働安全衛生法	石綿等の除去作業	2024年1月20日	○	林田
建設リサイクル法	再利用・再生利用・再資源化努力	2024年1月20日	○	林田
容器梱包リサイクル法	容器包装廃棄物の適正分別排出	2024年1月20日	○	林田
大気汚染防止法	特定粉じん等の排出防止	2024年1月20日	○	林田
建築基準法	石綿含有建材の使用禁止	2024年1月20日	○	林田
	クロルピリホス添加建材の使用禁止	2024年1月20日	○	林田
	ホルムアルデヒドに関する規制	2024年1月20日	○	林田
道路交通法、道路法	積載基準の遵守	2024年1月20日	○	林田
フロン排出抑制法	エアコン室外機のチェック	2024年10月2日	○	林田

上記以外にも、環境共生の為に以下の法規・法令を遵守しています。

法規等名称	確認日	評価	確認者
建築物省エネ法	2023年12月10日	○	林田
熊本県生活環境保全条例	2023年12月10日	○	林田
熊本市地下水条例	2023年12月10日	○	林田
熊本市緑に関する条例	2023年12月10日	○	林田
熊本県建築物環境配慮制度(CASBEE熊本)	2023年12月10日	○	林田
バリアフリー法	2023年12月10日	○	林田
熊本県やさしいまちづくり条例	2023年12月10日	○	林田

過去3年間に渡って、環境関連法規等の違反はなく、また関係機関からの訴訟等はありませんでした

## 9.代表者による評価

例年と比較しても一層の猛暑が続く、建設業が大変厳しい環境に置かれる中での13回目のレポート作成を迎えました。

本年は、昨年の結果や基準年と比較すると概ねクリアしている項目が多いですが、数字を見るとまだまだ活動の余地がある項目も見受けられます。

特にガソリンや軽油の使用量に関しては、昨年も課題として上げましたが、数字に取り組み結果を反映させることが難しくもどかしさを感じております。

TSMC進出に伴い、大津・菊陽など遠方の現場が多く使用量が増えている側面もありますが、本当にそこまで頻回に現場へ行く必要があるのか？と疑問に思える部分もあります。

「しっかりと現場に赴くことで高い品質を担保したい」という工事部の思いも組みつつ、無駄な現場訪問を極力減らせる様に、アンドパッド活用のさらなる促進が必要です。

少しずつではありますが、社内で利用者が増えており「あると便利だ」と言う声も上がってきております。

使いこなし始めた社員の協力も仰ぎながら、アンドパッドを活用した効率的な現場運営を強く推進し来年度以降に良い結果を出せればと思います。

また、昨年末から新しい経理システムを導入しました。

今まで紙を使って管理していた物がデータで記録・管理が出来る様になり、紙の使用を抑えることが出来る様になりました。

社員の意識改革だけでは難しい部分は会社がしっかりとバックアップし、EA21活動へのより積極的な取り組みを可能にしていきます。

2024年度は基準年目標の変更を目前に控えた取り組み年度です。

より実態に即した目標をクリアしていく為の前段階として私自身が先頭に立ち、社員一人一人の意識を向上させるべくEA21活動へ邁進して参ります。

	変更の必要性	指示内容
方針	なし	—
目標	あり	2026年度以降の中長期目標を仮設定、2025年度の結果を見て変更します
実施体制	なし	—

2023年9月2日  
株式会社 幸保工務店  
叶井 誠司



幸保工務店